

★研修報告★

■地区別農業委員等研修会・十勝農業委員会連合会講演会

11月15日、帯広市とかちプラザで開催されました。

講演会は「十勝の気候と天気予報の見方」と題し帯広測候所の山田修予報官から十勝地方の天気や気象庁ホームページから気象データ・予測データが紹介されました。その後の研修会では、北海道農業会議職員から農業委員会を取り巻く情勢など活動全般に関わる内容について説明を受けました。

■道内研修視察

12月5日から7日までの日程で道内視察研修を行いました。

1日目は恵庭市の道央農業振興



公社を訪問しました。同公社の長沢事務局長から江別・千歳・恵庭・北広島市の4市に跨る道央地域の農地利用集積や後継者対策への取り組みについて説明を受けました。

2日目は北海道農業会議事務局次長の乾泰司氏を講師に招き、農業委員活動を行う上での基礎知識、総会審議での留意点等について研修いたしました。その後、江別市のヤンマーアグリジャパン北海道では新設されたアグリソリューションセンターで社の概要と最新のトラクター技術について説明を受けたほか、トラクターの加工工場を見学しました。3日目はカルビ1千歳工場でジャガイモの加工ラインを見学し、担当者から原料となる馬鈴薯の確保の状況などについての説明を受けました。

■南十勝農業委員等研修会

2月8日から9日の2日間、音更町において南十勝農業委員等研修会が開催され、本町から19人が参加しました。

1日目は帯広畜産大学教授 佐藤禎稔氏による「十勝の大規模農業に期待されるスマート農業機械について」、同じく帯広畜産大学教授・学長補佐 金山紀久氏の「十勝農業の現状と今後の展望」の2

◆◆◆幕別町農業振興公社より◆◆◆

農地中間管理事業の借受け希望申し出について

農地中間管理事業とは、「農地中間管理機構（北海道農業公社）」が、耕作地を貸したい農業者（出し手）から長期に借り入れ、規模拡大や新規参入を希望する担い手（受け手）への農用地の集積・集約化を進める事業です。

- ◆借受け希望申出書の提出期間は、原則として毎年5月中と9月中の年2回です。
- ◆借受け希望申出書が提出されていない場合や提出後の有効期間が切れてしまった場合、また、借受け希望地域として申し出をしていなかった場合は、貸付地が出たとしても借受けを希望することができませんのでご注意ください。
- ◆借受け希望申出書の有効期間は募集の締切日（5月末と9月末）から5年間です。なお、期間満了前には幕別町農業振興公社から更新のお知らせをいたします。
- ◆申し出内容は、農地中間管理機構ホームページ等での公表に同意していただきます。
- ◆同事業による貸借では、出し手、受け手それぞれから貸借料の1%（消費税別途）が手数料として農地中間管理機構に徴収されます。

※ご不明な点は、（公財）幕別町農業振興公社（電話57-2711）に問い合わせください。

つの講演が、2日目は十勝総合振興局農務課長 勝藤彰氏から「十勝農業の現状と農業に関わる道政」の講演があり、研修を終えました。

■南十勝農業後継者担い手対策研修会

2月20日、更別村社会福祉センターで南十勝農業後継者担い手対

策研修会が開かれ、農業委員のほか、町農業振興公社から担い手専属アドバイザーなど17人が出席し、NPO法人北海道マリッジ・カウンセリングセンター秋元事務局長から、最近の結婚事情や農業後継者の結婚についての講演を受けました。